

21世紀 COE 講演会報告書

理学研究科 大須賀篤弘

研究集会名:21 世紀 COE 講演会

講演者: 福島 孝典 先生

相田ナノ空間プロジェクトグループリーダー

演 題:「グラファイト構造を有する低次元ソフトナノマテリアルの創成」

場 所: 京都大学理学研究科 6 号館 571 号室

日 時: 2006 年 6 月 8 日 16:00・18:00

参加者: 化学専攻大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数: 約 35 名

講演内容

カーボンナノチューブとイオン性液体の混合によるゲルの生成について、その発見のいきさつなどを含め詳しく解説された。さらに応用展開として重合成のイオン性液体を用いた導電性ポリマーやゲルを用いたアクチュエーターの開発について紹介された。

また、ヘキサベンゾコロネンを核とする両親媒性分子の自己集合によるナノチューブの合成について詳しく紹介された。温度によるチューブ構造とコイル構造の制御やキラル源の導入によるらせん性のコントロール、さらに、メタセシス反応を用いた安定なナノチューブの合成、水溶性ナノチューブの合成など多彩な話題を提供された。現在進行中の研究の未発表データまで含め、非常に貴重な興味深い講演内容であった。講演後は活発な質疑応答が行われ、質問が 40 分以上続いた。

